

◆ 4カ国を周遊し、8カ所の世界遺産を訪問。ポーランドはグダニスク・ワルシャワ・クラクフの三大都市を周遊！◆

バルト3カ国とポーランド周遊 12日間

出発日	旅行代金
6月11日(木)	779,000円
二人部屋の一人利用追加代金：98,000円 (ツインルームまたはダブルルームを確保)	

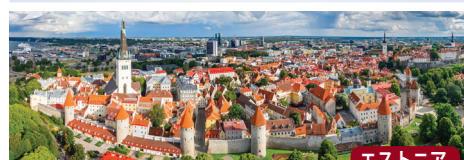
○利用航空会社：スカンジナビア航空。
○添乗員：羽田空港より全行程同行します。
○ホテル：スタンダード～ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくはお問い合わせ下さい。
○食事：朝食12回・昼食11回・夕食10回(機内食除く)
○海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
○最少催行人員：10名(最大20名)
○旅券残存・余白頁：帰国時3カ月以上。余白1頁以上。
◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆
○羽田空港使用料・保安サービス料：3,050円
○国際観光旅客税：1,000円
○燃油サーチャージ目安：79,640円(2025年11月現在)

ビジネスクラス追加料金 480,000円	
全席通路側の1-2-1配列。約112cmのシートピッチで快適なフルフラットの空の旅を。	
プレミアムエコノミークラス追加料金 190,000円	
座席配置は2-4-2、シートピッチは78～81cm、4段階の調節が可能なヘッドレストと、ゆとりのある設計。	

※上記利用区間は東京～コペンハーゲン間往復となります。
※上記追加代金で確保出来るお席の数は限られています。
上記金額の座席が売り切れになった場合、その後は、より高い追加代金になる場合もございます。

◆コースのポイント◆

バルト3カ国とポーランドを一度に巡る4カ国周遊の旅。ポーランドではグダニスク、ワルシャワ、クラクフの三大都市をしっかりと訪問。ヴィリニウス、リーガ、タリンの世界遺産旧市街に加え、マルボルク城やヴィエリチカ岩塩坑、アウシュヴィッツなど8カ所の世界遺産を巡り、ショパンゆかりの地やダ・ヴィンチの名画「白貂を抱く貴婦人」も鑑賞。通常は2コース分の内容を、効率の良い行程で無駄なく一度に巡る充実の企画です。



タリン旧市街 城壁に囲まれた石畳の路地に美しい中世の街並みが残る、世界遺産のハンザ同盟都市。



都市名	スケジュール
1 東京	■午前(11:35)、羽田空港より、空路、コペンハーゲン乗り継ぎ、リトアニア共和国の首都ヴィリニウスへ。 ■深夜、着後、ホテルへ。 〈ヴィリニウス泊〉 日 月 火
2 ヴィリニウス カウナス	■午前、遅めの出発で 世界遺産① ヴィリニウス市内観光 。パノラマが楽しめるゲディミナス城○や、大聖堂○と鐘楼○、夜明けの門○、内部装飾が素晴らしい聖ペテロ・パウロ教会○、杉原千畝氏の記念碑がある桜公園○にご案内します。 ★昼食は、リトアニア伝統料理をご賞味下さい。 ■午後、カウナスへ。 〈カウナス泊〉 火 水 木
3 カウナス (十字架の丘) リーガ	■午前、中世の面影を残すリトアニア第二の都市カウナスの観光へ。カウナス城○、杉原千畝記念館(旧日本領事館)○、市庁舎広場○、ライスヴェス通りの散策など。 ■午後、数多くの伝説が残る十字架の丘○を訪れます。その後、国境を越えラトヴィアへ入国。首都リーガへ向かいます。 〈リーガ泊〉 水 木 金
4 リーガ滞在 (ルンダーレ城)	■午前、 世界遺産② リーガの市内観光 へ。聖ペテロ教会○、聖ヨハネ教会○、リーガ城○、三兄弟の家○、ブラックヘッドのギルド○、ユーゲントシュテール建築群○、リーガの台所を支える中央市場○など。 ★昼食は、ラトヴィア伝統料理をご賞味下さい。 ■午後、バルトのベルサイユと呼ばれるルンダーレ城○を見学します。 〈リーガ泊〉 木 金 土
5 リーガ タリン	■午前、エストニアに入国。首都タリンへ向かいます。 ★昼食は、エストニア伝統料理をご賞味下さい。 ■午後、 世界遺産③ タリン市内観光 。大聖堂○、アレクサンドル・ネフスキー聖堂○、旧市庁舎前広場(ラエコヤ広場)○、トームペア城○などにご案内します。 〈タリン旧市街徒歩圏／パークイン・バイ・ラディソン・メリトン泊〉 金 土 日
6 タリン グダニスク	■午前、自由行動。 ■午後、空路、コペンハーゲン乗り継ぎ、グダニスクへ。 〈グダニスク泊〉 土 日 月
7 グダニスク 滞在 (オリバ大聖堂) (マルボルク城)	■午前、 グダニスク市内観光 。レンガ造りの教会としては世界最大と言われる聖マリア教会○、ドゥーギ広場○、高い門・プラマ・ヴィジナ○、市庁舎○、連帯の碑などにご案内します。 ★また、オリバ大聖堂○にて世界で最も美しい音色と云われるパイプオルガンのミニ・コンサートもお楽しみいただきます。 ■午後、ヨーロッパでも指折りの堅固な中世の 世界遺産④ マルボルク城 ○へご案内します。 〈グダニスク泊〉 日 月 火
8 グダニスク ワルシャワ	■午前、空路、ワルシャワへ。 ■着後、 世界遺産⑤ ワルシャワ市内観光 にご案内します。第二次世界大戦の戦禍より、見事に復興した旧市街○、15世紀に造られたバロック様式の岩バルバカン○、ショパンの心臓が安置されている聖十字架教会○、ヨーロッパで最も美しい公園のひとつと言われるワジェンキ公園○を訪見します。また、郊外のジェラズバ・ボラにてショパンの生家(博物館)○を見学します。 ★ショパンのミニ・コンサートにもご案内します。 〈ワルシャワ泊〉 火 水 木
9 ワルシャワ (ザリピエ) (ヴィエリチカ) クラクフ	■午前、戦災を免れた美しい古都クラクフへ。途中、カラフルな花柄のザリピエ模様で彩られたザリピエ村○にご案内します。 ■午後、郊外の 世界遺産⑥ ヴィエリチカの岩塩採掘場 ○へご案内します。塩の結晶でつくられた彫像や、見事なシャンデリアをご覧いただけます。 〈クラクフ泊〉 水 木 金
10 クラクフ滞在 (アウシュヴィッツ)	■午前、 クラクフ市内観光 。第2次世界大戦の戦禍を免れた 世界遺産⑦ 歴史地区 を訪れ旧市街○、聖マリア教会○、ポーランド最古の大学ヤギェウォ大学○、ヴィスワ河畔の丘に立つヴァヴェル城○を観光します。 ★チャルトルスキ美術館も訪れ、ダ・ヴィンチ作「白貂を抱く貴婦人」を鑑賞下さい。 ■午後、 世界遺産⑧ ユダヤ人強制収容所跡アウシュヴィッツ・ビルケナウ ○を見学します。 〈クラクフ泊〉 木 金 土
11 クラクフ	■午前、空路、コペンハーゲン乗り継ぎ、帰国の途へ。 〈機中泊〉 土 日 月
12 東京	■午前(07:55)、羽田空港着。通関後、解散。

※ラトヴィア、リトアニア、ポーランド入国に際して、海外旅行保険の加入及び保険証券の携帯が義務付けられています。詳しくはお問合せ下さい。
※観光順序を入れ替えてご案内する場合もございます。予めお含み下さい。



グダニスク 中世から自由都市として栄えた歴史あるバルト海沿いの古都。



十字架の丘 宗教弾圧の時代に人々が十字架を置き続けた聖なる信仰の場。



ザリピエ 家々にはカラフルな花模様が美しいザリピエ柄が施されます。

イヤホンガイド・サービスを使用します。 昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービスします。

より快適な、価値ある旅のご案内

●国内線の乗り継ぎについて

- ◇大阪、名古屋、福岡、札幌などからの国内線でご出発の場合、追加料金にて手配を承ります（一部コースを除く）。料金につきましてはお問い合わせ下さい。（別途、お席の確保が必要となります。）
- ◇国内線をご利用の場合、国内線の遅延や、乗り継ぎ不可能な時、座席を確保できない時、他の交通機関を利用した時、羽田経由の場合の成田空港までの交通費、宿泊が必要となった時の費用等、ご出発とご帰国時の国内における諸費用はお客様の負担となります。

●航空機及び移動について

- ◇利用航空会社は、日本発着便を原則として表示しており、乗り継ぎを必要とする時の航空便や、旅行地で空路移動する場合の航空便は、他の航空会社となることもあります。又、日程表の空路移動表示は出発地と最終目的地のみで示されております。

- ◇交通機関の遅延や、不通、スケジュール変更等により、目的地での滞在時間の短縮や、訪問地の変更、取り止め等が生じる場合の責任は負いかねますが、出来る限り当初の日程内容に従った旅行サービスをお客様がお受けいただけるよう努力致します。

- ◇航空便の座席（隣合わせ、窓側、通路側等）については、ご希望に添えない場合もございます。又、座席の混み具合等によりご同伴の方でも隣り合わせのお席にならないこともございます。

- ◇僻地や列車等での移動でボーターがない場所では、お客様にご協力をいただきご自身のお荷物をお運びいただくこともございます。

●利用航空機について（日本発着便）

- ◇スカンジナビア航空、KLM オランダ航空、フランス航空、ブリティッシュ・エアウェイズ、ルフトハンザ・ドイツ航空、オーストリア航空、ITA エアウェイズ、スイス・インターナショナルエアラインズ、フィンランド航空、ターキッシュエアラインズ、LOT ポーランド航空、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、全日空、日本航空。

●日程中のマークの読み方

- ☐：朝食、☐：昼食、☐：夕食、☐：機内食、☐：食事なし
- ◎：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光

●時間帯のめやす

04:00	06:00	08:00	12:00	13:00	17:00	19:00	23:00
深夜	早朝	朝	午前	昼	午後	夕刻	夜

●ご宿泊について

- ◇お一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、**一人部屋利用追加代金の半額にて**、お一人部屋をご利用いただけます。但し、ご出発日の60日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限りです。尚、相部屋の方の、禁煙・喫煙、同年代などの希望には添えません。また、お申込後「相部屋→一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。

- ◇シングル・ルーム（お一人部屋）をご利用の場合、ヨーロッパスタイルのホテルでは、お部屋が手狭だった浴室の設備がシャワーのみの場合がございます。

- ◇国によっては、二人部屋のお一人での使用も承ります（別途、追加料金が必要）が、地方都市や混雑状態などによりお一人部屋になることもございます。また、ホテルによっては、ダブルベッドの場合もありますので、ご了承下さい。

- ◇三名様で一室をご利用の場合は、二人部屋に簡易ベッドを一つ入れた状態でご利用いただくため、お部屋が手狭となります。また、旅行代金の割引もございません。尚、旅行中の一部のホテルで簡易ベッドをご準備できないこともございます。その場合、お一人部屋（追加料金が必要）をご利用いただくことになります。

- ◇お部屋のベッドは、二名一室を利用基準に、ベッドが二台のツインルームをご用意しますが、地方都市や、古いヨーロッパスタイルのホテルでは、二つのベッドマットが離れていないジャム・ツインタイプのお部屋もございます。

- ◇バスルーム（浴室）は、地方都市では、お湯の出が悪かったり、シャワーのみのお部屋となります。

- ◇ホテルの部屋割りは、ホテル側で前もって割当ており、グループやご家族旅行の場合でも、隣室や同階でのお部屋をご用意できないこともございます。又、伝統や格式あるヨーロッパのホテルでは、それなりの雰囲気や味わっていただける反面、部屋により広さや調度品が異なったり、設備面で機能性を欠く場合もございます。

●ビジネス・クラス利用について

- ◇お席の混雑具合により料金が変動いたしますので、早めのお問い合わせ・お申込みをおすすめいたします。
- ◇ビジネス・クラス席をご利用いただける区間は、原則として日本と最初の到着地の長距離フライトです。短距離フライトがエコノミー・クラスとなる場合もございます。また旅行サービス内容（バス、ホテル、食事等）は、航空座席クラスにかかわらずグループと同一となります。

昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービス

場所によってはガス入りとなる場合もございます。

便利なイヤホン・ガイドサービスを使用

添乗員、ガイドから離れていても説明が聞けるイヤホン・サービスを利用し、密状態を避けま。

●個人情報の取り扱いについて

- ◇弊社は旅行申込の際にご提出頂いた申込書に記載された個人の情報にしましては、お客様と弊社との連絡に利用させて頂く他、当該旅行の実施に関わる関係諸機関へ必要な範囲内で提供させて頂きます。また、弊社の旅行商品の開発、ご案内などで利用させて頂く場合もございます。

●海外渡航関連情報について

- ◇訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。

■外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

■厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

- 確定した航空会社の便名、ホテル名等は、ご出発日の前日迄にお渡しする確定書面でお知らせ致します。尚、お問い合わせ頂ければ手配状況についていつでもご説明申し上げます。

◇ご協力とお願い◇

団体旅行は、楽しい旅をしていただくためにお客様同士の心配りが大切です。バス移動の際の前方座席の連日の独占は避け、カメラ・ビデオの撮影マナー、喫煙マナー、食事マナーなどに気を配り、お互いに譲り合い、公序良俗を守り、気持ちよく旅ができるよう、皆様の協力をお願い申し上げます。

ご旅行条件（要旨）ご旅行代金の内訳、お取消料などについて、旅行条件を十分にお読み下さい。

この旅行は株式会社旅のデザインルーム（以下当社）が企画・募集し実施する企画旅行であり、参加されるお客様は当社と企画旅行契約を締結することになります。当社は旅行日程に従ってお客様が運送・宿泊機関等の旅行に関するサービス（以下旅行サービス）の提供を受けることができるように、手配することを引き受けます。この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書及び同法12条の5に定める契約書面の一部になります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行条件書（全文）、ご出発前にお渡しする最終日程表（確定書面）によります。お申込の際は、旅行条件書（全文）をお受け取りの上、必ずご確認下さいようお願い申し上げます。

●旅行代金に含まれるもの

- ◇旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食料料金、観光料金（バス料金・ガイド料金・入場料）、宿泊料金二名一室を基準）及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●旅行代金に含まれない物

- ◇上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。超過手荷物料金、お一人部屋を利用される場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプション・ツアーの料金、渡航手続関係諸費用（旅券印紙代、手続代行料金など）、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費・宿泊費、クリーニング代・電報電話料金・ホテルのボーイやメイドへのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

●お申し込みの際に

- ◇旅行中に特別な手配を必要とする方は、お申込みの時にその旨お申し出下さい。コースによっては、ご参加いただけないこともございます。

- ◇特定の目的又は、特定の旅客層を対象とした旅行については、ご参加いただけない場合もございます。

- ◇他のお客様に迷惑を及ぼすおそれがあると当社が判断する方のお申込みはお断りすることもございます。

●旅行代金のお支払い

- ◇旅行代金は、出発日の21日前までにお支払い頂きます。

●取消料

旅行解除期日	旅行代金	取消料（お一人）
ピーク時の旅行（41日前までは不要） ●40日前から31日前までの取消し		旅行代金の10% （限度額5万円）
その他の期間の旅行（31日前迄不要） ●30日前から21日前迄の取消し	30万円以上	50,000円
	15万円以上 30万円未満	30,000円
	15万円未満	20,000円
以下は全ての旅行に適用		
●20日前から3日前までの取消し		旅行代金の20%
●前々日から当日		旅行代金の50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の100%

- 「ピーク時」とは12/20～1/7、4/27～5/6及び7/20～8/31をいいます。

- 取消料の対象なるお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加代金（一人部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

- 部屋予定の方の取消に伴う一人部屋追加代金について
◇配偶者・友人など部屋予定のお相手の方がお取消された場合、結果的にお一人でお部屋を利用することになる方は、**一人部屋利用追加代金のお支払いが必要となります。**

●旅行条件・旅行代金の基準

- ◇この旅行条件は2025年11月14日を基準としております。また旅行代金は2025年11月14日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。尚、旅行代金の変更について定めた当社約款第13条第1項から第4項の適用に関し、幅運賃制であるIIT運賃（個人包括旅行運賃）を適用した旅行は、幅の範囲内での航空運賃の増額又は減額があっても当該旅行の代金の変更は致しません。詳細については、当社の旅行業約款をご覧ください。

●旅程保証

- ◇旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款の規定により、その変更の内容により変更補償金をお支払い致します。

この条件に定めのない事項は当社旅行業約款によります。当社旅行業約款をご希望の方は、当社にご請求下さい。

◆◆お申し込みからご出発まで◆◆

- お問い合わせ：ご関心をお持ちのコースをお電話またはメールでお知らせ下さい。詳しい日程やご旅行条件が記載されたパンフレットをお送りいたします。
- お申込み手続き：ご希望のツアーの残席状況をご確認の上、お電話でご予約下さい。その後、5日以内にお「お申込書」をお送り下さい。あわせて「お申込金」5万円（ご旅行代金30万円未満のツアーの場合は3万円）を弊社口座にお振込み下さい。「お申込書の提出」と「お申込金の入金」をもって正式申込みとなります。
- 残金のお手続き、保険・査証手続き：旅行代金はご出発の21日前までにお支払い下さい。査証が必要なコースにお申し込みの方は、旅券など必要書類を当社までお送り下さい。
- 旅程表などの送付：確定した航空会社の便名や発着時間、宿泊ホテル名、ご集合の案内、ご旅行先の現地事情（旅先の気温、服装、携行品、通貨）などをひとまとめにした『旅程表』をご出発の7日前までにお送りいたします。
- 同行添乗員よりお電話：ご出発の2～3日前に、お電話させていただき添乗員より皆様に最終打合せのお電話を差し上げます。ご旅行に先立ち、ご不明点などございましたらご遠慮なくご質問下さい。
- いよいよご出発：お忘れ物のないように、集合場所に余裕をもってお出掛け下さい。

- 旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく、下記旅行業務取扱管理者にご質問下さい。